

子どものすこやかな成長のための政策は



鈴木 てるみ 議員

問 令和6年度から開設する「子ども家庭センター」の概要と方向性はどうか。

答 「すこやか保健センター」の母子保健部門と、「子ども・くらし相談センター」の児童福祉部門を一体化し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへの切れ目ない一体的な相談支援体制を検討している。

問 「子ども・くらし相談センター」と、教育部との連携はどうか。

答 接種を逃した対象者4461人に、案内文と予診票、説明資料を送付した。令和2年度から、「若年者の在宅ターミナルケア支援事業」で訪問介護等への支援を行っている。

問 児童生徒の多様な状況に応じて連携を図りながら、相談対応や支援を行っている。



詳しくはこちら

陵南幼稚園と陵南小学校の一体的な施設整備を



野村 和人 議員

問 市立幼稚園民営化の取組状況はどうか。

答 平成30年の公立幼稚園民営化等検討委員会の提言を受けて、近隣の社会福祉法人と意見交換を行うなど、さまざまな取組をしてきた。しかし、幼保需要や補助金交付が不透明であるため認定子ども園への移行は困難であり、市立で運営している。

問 陵南小学校内の仮設教室の現状と、長寿命化計画の方針はどうか。

答 平成25年度に建設した仮設校舎は、特別支援学級3教室と教育相談室として使用している。学校施設長寿命化計画で、陵南小学校の校舎は中長



老朽化している陵南小学校仮設校舎



詳しくはこちら

更なる子育て支援を



前島 広紀 議員

問 霧島市子ども館（すかいびあ）の活用状況と課題はどうか。

答 開館日から1年間の利用者数は7万4122人と、当初想定していた年間6万人を大きく上回るものとなった。子育て世代の要望にかなった施設として好評を得ているものと考えている。課題としては、休日及びイベント開催日には利用者が多く、長い待ち時間が発生することがあり、子どもたちにゲームを楽しんでもらうなど創意工夫を凝らしながら対応している。

共生社会の実現を

問 次期障がい者支援計画策定の方針はどうか。

答 令和6年度からの次期計画の策定作業を進めている。障がいのある方が個人の尊厳にふさわしい日常生活を過ごせるよう支援体制を確保し、相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現に向け、総合的かつ計画的に政策を推進することを目標に策定している。



詳しくはこちら

学校給食の無償化を



有村 隆志 議員

問 少子化と経済対策を見据えて、学校給食費を無償化できないか。

答 施設や運営に要する経費は市が負担し、食材費は、保護者負担として無償化する。また経済的に困窮している世帯に対しては、学校給食の一部を補助している。本市独自で無償化するには、4億5000万円の財源が必要と見込まれることから、今後も国・県の動向を注視し、引き続き安心安全な学校給食の提供と負担の適正化に努める。



学校給食

問 地域食材を多く使った地産地消型給食にできないか。

答 学校給食に市内産の米を使用するため、JA



詳しくはこちら

さらなる議会機能強化に、議員全員で取り組みます。

- ①政策提言サイクルの改善
- ②議員の資質向上
- ③一般質問の質問力UP

これまでの議会改革の取組に加え、より市民に身近で、政策実現力の高い議会の実現に向けて、議会基本条例の見直しや、議員研修の実施などを計画しています。

令和6年2月の、大正大学の江藤俊昭教授による議員研修からスタートし、令和7年3月までの期間取組を進めます。

広報広聴常任委員会でも、「日本一聴く議会」を目指し、年間スケジュールを立て、委員一丸となって取り組みます。次回から、議会改革の取組について誌面でお知らせします。ご期待ください。



広報広聴常任委員会の取組が、第18回マニフェスト大賞九州・沖縄エリア選抜に認定されました。



議会のお知らせを公式Facebookページに掲載しています。